

管理 No.213 【 CapeOX (XELOX)療法】 2023 年 12 月 14 日改定

疾患名：術後補助化学療法 1クール：21日 総クール数：8クール

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
オキサリプラチン	エルプラット	130mg/m ²	Day1	末梢神経障害 (機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全)
カペシタビン	カペシタビン (ゼローダ)	※ 1000mg/m ² /回	Day1 夕 -15 朝	血液毒性 (グレード3以上)、消化器症状 (グレード2以上)

2. レジメン

投与日	Rp	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1	1		キープ& フラッシュ用	生食 100mL		血管外漏出・逆血予防のルート確認 ケモ終了時ルートのフラッシュ用にも使用する ※全量投与しなくてもよい
Day1	2	点滴静注	15分	ハロノセトン(0.75mg/5mL)	1V	
				デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
				生食 50mL		
Day1	3	点滴静注	120分	エルプラット(100mg) 5%ブドウ糖液 250mL	130mg/m ²	エルプラットは塩化物含有溶液により分解するため、生理食塩液などの塩化物を含む輸液との配合はさける
Day1 夕 -15 朝	4	内服(1日2回)	朝・夕食後	カペシタビン	※ 1000mg/m ² /回	※カペシタビン投与量:体表面積 1.36 m ² 未満 1200mg/回 1.36~1.66 m ² 未満 1500mg/回 1.66~1.96 m ² 未満 1800mg/回 1.96 m ² 以上 2100mg/回

3. 初回投与基準及び次クール投与基準

(投与前日または当日に下記条件を満たさない場合は下記条件に回復するまで延期する。)

- PS規定: PS 0~2
- 白血球数 3,000~12,000 /mm³(初回投与は 3,500/mm³)、好中球数 \geq 1,500/mm³、血小板数 \geq 7.5 万/mm³ (初回投与は 10 万/mm³)
総ビリルビン \leq 1.5 mg/dL、AST、ALT \leq 2×施設の正常値上限、クレアチニン \leq 1.5mg/dL、BUN \leq 25mg/dL
発熱、CRP上昇あるいは白血球増加(\geq 12000/ μ L)等の感染兆候なし

4. 休薬基準(休薬を考慮する値・症状など)

- 白血球数 $<$ 3000/mm³、好中球数 $<$ 1500/mm³、血小板数 $<$ 7.5 万/mm³、AST、ALT $>$ 150 IU/L、クレアチニン \geq 1.5mg/dL
- グレード2以上の下痢、口内炎
- 上記以外の非血液毒性グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

5. 減量基準(以下の値、症状が出現した場合、次回再開時減量を考慮する。)

※血液毒性発現時の減量基準-グレード3以上で減量

項目	減量基準	各薬剤の減量	
		カペシタビン	オキサリプラチン(mg/m ²) 130→100→85
白血球数 /mm ³	2,000 未満	1 段階減量	1 段階減量
	1,000 未満	投与中止もしくは2 段階減量	投与中止もしくは85mg/m ²
好中球数 /mm ³	1,000 未満	1 段階減量	1 段階減量
	500 未満	投与中止もしくは2 段階減量	投与中止もしくは85mg/m ²
血小板数 /mm ³	50,000 未満	1 段階減量	1 段階減量
	25,000 未満	投与中止もしくは2 段階減量	投与中止もしくは85mg/m ²

次ページに続く

※非血液毒性発現時の減量基準

グレード	発現回数	各薬剤の減量	
		カペシタビン	オキサリプラチン
グレード2	1	変更なし	変更なし
	2	減量1段階	変更なし
	3	減量2段階	変更なし
グレード3	1	減量1段階	100mg/m ²
	2	減量2段階	85mg/m ²
グレード4	1	投与中止もしくは2段階減量	投与中止もしくは85mg/m ²

カペシタビン減量時の1回投与量

体表面積	1回投与量		
	初回投与量	1段階減量	2段階減量
1.36m ² 未満	1200mg	900mg	600mg
1.36m ² 以上 1.41m ² 未満	1500mg		
1.41m ² 以上 1.51m ² 未満		1200mg	
1.51m ² 以上 1.66m ² 未満	1800mg		900mg
1.66m ² 以上 1.81m ² 未満			
1.81m ² 以上 1.96m ² 未満		1500mg	
1.96m ² 以上 2.11m ² 未満	2100mg		1200mg
2.11m ² 以上			

<神経毒性のGrade別エルプラットの用法・用量の減量・中止基準>

Grade	発現の期間		次クールまで回復せず、 症状持続
	1～7日間	8日間以上	
1.知覚異常/感覚異常はあるが、機能障害までには至らない	変更せず	変更せず	変更せず
2.機能障害に及ぶが日常生活には支障がない	変更せず	変更せず	100mg/m ²
3.痛みを伴うか日常生活に支障をきたす	変更せず	100mg/m ²	中止
4.持続的で行動不能・致命的	中止	中止	中止
急性毒性:2時間の点滴中または点滴後、咽頭の感覚異常	次回6時間で 点滴静注	次回6時間で 点滴静注	次回6時間で点滴静注